

【相談事業】

隣保館総合生活相談

生活上の相談、人権に関わる相談に応じ、適切な助言指導を行う。

	開設場所	開設日	対応者
常設相談	氷上文化センター・七日市会館（電話・来館）	常 設	相談指導員、館長
出張相談	柏原・青垣・山南・市島地域の住民センター	月 2 回(申込制)	相談指導員
休日出張相談	市民プラザ	年間 3 回(申込制)	相談指導員
夜間出張相談	氷上住民センター	年間 3 回(申込制)	相談指導員

※「令和6年度 隣保館生活相談状況 2/25 現在」資料7参照

【啓発・広報活動事業】

1 人権標語・人権啓発パネル展

「人権文化をすすめる市民運動」の一環として、未来を担う子どもたちがさまざまな人権課題を考え、人権に関する標語の作成を通して、人権尊重の重要性について理解を深めるとともに、お互いの人権を尊重し合える社会の実現を目指した啓発資料として活用する。

事業名	内 容	募 集	実施時期	応募数	備 考
じんけん標語 作品募集	人権に関する 標語を募集	小学校5、6年生 各学年3作品以内 中学校1、2、3年生 各学年 20 作品以内	募集期間 9月 2～13日	230 点	優秀賞・優良賞 各受賞者5名 計10名 ※資料8参照
じんけん標語 展示	全作品を展示				
じんけん啓発 パネル展	テーマ:性的マイノリティ 性的マイノリティの人々が抱える社会課題をまとめたパネル「LGBT の困りごと」(10 枚)や、「トランスジェンダーのリアル」のパネル(7枚)			展示期間 11月29日～12月6日 丹波ゆめタウン	

2 人権歴史講座 3回講座

- 目的 ①部落問題の正しい歴史認識を持つ
②様々な人権問題への理解を深める
③被差別地域に対する忌避意識の解消に繋げる
④教師と地域住民の共通理解を図る

事業名	事業内容	募集人数	実施時期	講師等
第1回	「部落差別、まだあるの?どこにあるの?なくせるの?」	50 名 (参加 51 名)	7月 22 日	近畿大学名誉教授 奥田 均 さん
第2回	「被差別部落の起源・成立と部落解放の展望」	50 名 (参加 39 名)	10月 23 日	桃山学院大学名誉教授 寺木 伸明 さん
第3回	フィールドワーク:堺市 舳松(へのまつ)人権歴史館～周辺 フィールドワーク他	20 名 (参加 13 名)	2月 13 日	舳松人権歴史館職員

3 じんけんセミナー 4回講座

目的 同和問題をはじめとするあらゆる人権課題を問題提起し、解決に向けて啓発をしていく。

事業名	事業内容	募集人数	実施時期	講師等
第1回	「性の多様性から「じぶん」について考える」～誰もが排除されない社会をめざして子どもたちとの出会いから見えてきたこと～	50名 (参加25名)	8月9日	にじいろ i-Ru(アイル) 田中一歩 さん 近藤孝子 さん
第2回	「氷上の水平運動と松茸山入会権闘争」	40名 (参加48名)	8月22日	大阪人権博物館 館長 朝治 武 さん
第3回	「正しく知ってほしい吃音のこと」	50名 (参加48名)	10月4日	越賀 美穂 さん 足立 大地 さん
第4回	「インターネットと人とのかわり合い～突然、僕は殺人犯にされた～」	60名	3月22日	スマイリーキクチ さん (タレント)

4 啓発資料貸出

内 容	期 間	備 考
隣保館所有の啓発用DVD・書籍の貸出	通年	随時受付
貸出実績:延29件(学校等)、57作品 (R5:延13件(学校等)、18作品)		

【地域交流事業】 5回講座

目的 交流事業を通して、住民相互の交流促進を図る。

事業名	事業内容	募集人数	実施時期	講師等
第1回	庭木剪定教室	20名 (参加13名)	7月12日	東野 忠満 さん
第2回	はじめてのスマホ教室	10名 (参加7名)	11月15日	芦田集学校 下村 海さん
第3回	料理教室(年越しそば打ち教室)	20名 (参加19名)	12月21日	瀬田 勝 さん
第4回	料理教室(ベトナム料理教室)	20名 (参加17名)	2月23日	グエン ティ ヒエン さん ヴォン ティ キム トウエン さん
第5回	料理教室(コーヒー教室)	20名	3月9日	岡崎 莉奈 さん 岡崎 亘 さん

【地域交流促進事業】

休日等開館事業 委託先：特定非営利活動法人 リアンたんば

事業名	内 容	募集人数	実施時期
こどもの居場所づくり	・様々な問題を抱えた子どもを対象として学習・生活支援を行う。 ・子どもが抱える様々な悩みや問題に対して、対象者及びその家族からの面接相談・電話相談業務を行う。	20人程度	2～3回/月 土曜日 午前中 年間26回開催予定

※議 事 (1) 隣保館こどもの居場所づくり事業について 事業関係資料参照

【その他】

1 貸館業務

地域住民の生活文化の向上及び福祉の増進を図り、人権意識の高揚のために設置された施設の利用増進を図る。

施設	利用時間
○氷上文化センター	午前9時から午後10時まで (12月29日から1月3日除く)
○七日市会館	
○貝市会館	

【施設の利用状況】

施設	令和6年度(4~2月申請分)				令和5年度			
	利用回数		利用人数		利用回数		利用人数	
	有料	免除	有料	免除	有料	免除	有料	免除
氷上文化C	229	119	4,115	1,907	160	148	1,436	2,267
七日市会館	34	67	303	724	48	73	398	770
貝市会館	40	2	160	40	49	6	239	107
計	303	188	4,578	2,671	257	227	2,073	3,144
合計	491		7,249		484		5,217	

※主な増加要因：健康体操教室（約30人）や囲碁グループ（約10人）の団体が毎週利用になった。

2 高齢者の居場所づくり

目的 地域住民（高齢者）が気軽に集え、個人や地域が抱える課題を共に語り合う場づくりを行う。

場所 氷上文化センター 他

開催日 月1回（水曜日）

参加対象 西中連合区の高齢者

主催者 ボランティア団体 ひなたぼっこ

月	日	内容
4	-	(休止)
5	8	自己紹介、リズム体操
6	12	紙芝居、笑いヨガ
7	10	七夕まつり、高齢者の過ごし方
8	7	健康教室
9	11	バス旅行（和田山海鮮せんべい）
10	9	寸劇、カラオケ（正福寺）
10	23	健康講座
11	13	振込サギ防止
12	11	クリスマス会、カラオケ
1	8	ゲームあそび
2	12	豆まき、ハーモニカ演奏
3	12	反省会

3 中央小学校3年生が人権現地学習に来館（11月1日：40人）

学習内容

○氷上文化センターの歴史

- ・隣保館がつくられた目的（いじめや差別のないまちにする。だれもが仲間はずれにされないまちにする。一人ひとりの生き方が大切にされるまちにする。）

○氷上文化センターのおもな仕事

- ・こまったことの相談
- ・いじめのない地域にしたい
- ・交流でなかまをつくりたい
- ・いろいろなグループの活動を応援したい

○氷上文化センターのねがい

- ・丹波市の人みんなが、なかよくたのしく くらしてほしい。